

算数

5

年生



ウミドリる

算 数



小数のたし算



ユリカモメ オス

小数を使うことなんか
あるか?

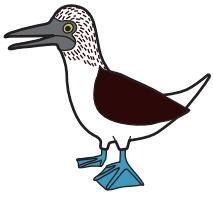
はかせ
うみどり博士

小数のたし算は整数の時と同じように筆算を使って考えましょう。注意することは、小数点の位置をそろえることです。答えの一番下の位が0になるときは0を消しておきましょう。くり上がりのルールは整数の時と同じです。



ユリカモメ オス

5.5kgや12.3mみたいに
重さや長さを表す
ときにもよく登場するよ!



アオアシカツオドリ オス



けっこう身近
なんだなあ。

例 $15.72 + 5.2 = 20.92$

$$\begin{array}{r}
 15.72 \\
 + 5.2 \\
 \hline
 20.92
 \end{array}$$

問1 $72.3 + 59.88 =$

問2 $45.61 + 54.39 =$

問3 $22.72 + 59.3 =$

問4 $38.4 + 61.91 + 52.37 =$

問5

ある船では昨日は38.53tの魚がとれ、
今日は42.79tの魚がとれました。
2日間合わせると何tの魚がとれましたか。

答え



問6

A,B,Cの3人が飼っている魚の話をしています。Aさんの飼っているグッピーの体重は7.33gで、Bさんの飼っているカクレクマノミの体重は13.25g、Cさんの飼っているナンヨウハギの体重は43.8gです。3人の魚の体重を合計すると何gになりますか。

答え

問7

ヨットが3日間の航海をしました。
1日目は31.95kmすすみ、
2日目は21.3kmすすみ、
3日目は18.95kmすすみました。
3日間で何kmすすみましたか。

答え

解答

問1 132.18

問2 100

問3 82.02

問4 152.68

問5 81.32t

問6 64.38g

問7 72.2km

解説

問1
$$\begin{array}{r} 72.3 \\ + 59.88 \\ \hline 132.18 \end{array}$$

問2
$$\begin{array}{r} 45.61 \\ + 54.39 \\ \hline 100.00 \end{array}$$

問3
$$\begin{array}{r} 22.72 \\ + 59.3 \\ \hline 82.02 \end{array}$$

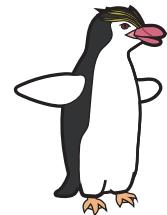
問4
$$\begin{array}{r} 38.4 \\ 61.91 \\ + 52.37 \\ \hline 152.68 \end{array}$$

問5
$$\begin{array}{r} 38.53 \\ + 42.79 \\ \hline 81.32 \end{array}$$

問6
$$\begin{array}{r} 7.33 \\ 13.25 \\ + 43.8 \\ \hline 64.38 \end{array}$$

問7
$$\begin{array}{r} 31.95 \\ 21.3 \\ + 18.95 \\ \hline 72.20 \end{array}$$

小数のひき算



ロイヤルペンギン メス

0.07 g のダイエットに成功したざます。

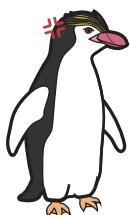
はかせ
うみどり博士

小数のひき算も筆算を使って考えましょう。たし算とおなじく小数点の位置をそろえることが大切です。くり下がりのルールは整数の時と同じです。

ほぼ変わっていないな。



ユリカモメ オス



ロイヤルペンギン メス

うるさいざます。

$$\begin{array}{r}
 23.41 \\
 - 15.7 \\
 \hline
 7.71
 \end{array}$$

問1 $62.85 - 7.94 =$

問5 $32.85 - 14.9 =$

問2 $38.23 - 30.73 =$

問6

83.7kgある魚のうち、42.95kgをみんなで食べました。
残っている魚の重さは何kgですか。

問3 $54.3 - 53.12 =$

問4 $28.3 - 19.43 =$

答え



問7

30kmある海岸を散歩します。18.27km歩いたところで休けいをとりました。
残った道のりは何kmですか。

答え

問8

83.77kgあるカニを3日間にわけて食べようと思います。
1日目は36.3kg食べ、
2日目は19.87kg食べました。
3日目には何kg食べることができますか。

答え

解答

問1 54.91
問2 7.5
問3 1.18
問4 8.87
問5 17.95

問6 40.75 kg
問7 11.73 km
問8 27.6 kg

解説

問1 62.85	問2 38.23	問3 54.3	問4 28.3	問5 32.85
- 7.94	- 30.73	- 53.12	- 19.43	- 14.9
54.91	7.50	1.18	8.87	17.95

問6 83.7	問7 30
- 42.95	- 18.27
40.75	11.73

問8 $83.77 - 36.3 - 19.87 = 83.77 - 19.87 - 36.3 = 63.9 - 36.3 = 27.6$

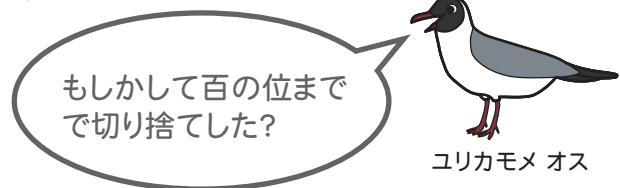
がい数(切り捨て)



インカアジサシ メス



うみどり教授



ユリカモメ オス



インカアジサシ メス

おさいふに3256円入っているとき、いくらくらい持っていると言いますか？3000円くらい？4000円くらい？このようなおよその数のことを「がい数」といいます。がい数に直す方法のうち、小さくしておよその数にする「切り捨て」について学んでみましょう。

必要な位までをそのまま残し、それより下の位の数字をすべて0にして、わかりやすくします。

次の数を切り捨てでがい数にしましょう。

問1 2197(百の位まで)

問2 2197(十の位まで)

問3 1569(千の位まで)

問4 999 (百の位まで)

問5 4000(千の位まで)



解答

- 問1 2100
問2 2190
問3 1000
問4 900
問5 4000

解説

- 問1 2197(百の位まで)→2100
問2 2197(十の位まで)→2190
問3 1569(千の位まで)→1000
問4 999 (百の位まで)→900
問5 4000(千の位まで)→もともと百の位以下は0なのでそのまま4000
-

がい数(切り上げ)



ユリカモメ オス

テストで
100点とった!



インカアジサシ メス

もしかして百の位まで
で切り上げた?



ユリカモメ オス

ばれたか…

今度は、がい数に直す方法のうち、大きくしておよその数にする「切り上げ」について学んでみましょう。

必要な位より下にちょっとでも大きさがあれば、求める位の数を1大きくして、それより下の数をすべて0にします。

次の数を切り上げでがい数にしましょう。

問1 2197(百の位まで)

問2 2197(十の位まで)

問3 1569(千の位まで)

問4 999 (百の位まで)

問5 4000(千の位まで)



解答

- 問1 2200
- 問2 2200
- 問3 2000
- 問4 1000
- 問5 4000

解説

- 問1 2197(百の位まで)→2200
 - 問2 2197(十の位まで)→2200
 - 問3 1569(千の位まで)→2000
 - 問4 999 (百の位まで)→1000
 - 問5 4000(千の位まで)→百の位以下は0で大きさがないので切り上げることができない。
そのまま4000。
-

がい数(四捨五入)



ユリカモメ オス

もとの数に
より近いがい数で
表せるね。



うみどり教授

今度は、がい数に直す方法のうち、大きさによって切り捨てと切り上げを使い分ける「四捨五入」について学んでいきましょう。



ユリカモメ オス

そうだね…



インカアジサシ メス

もう
ごまかせないわね…

必要な位の1つ下の数字が、小さいグループの0~4ならば切り捨て、大きいグループの5~9ならば切り上げでおよその数にします。

次の数を四捨五入でがい数にしましょう。

問1 6257(千の位まで)

問2 6257(百の位まで)

問3 56037(上から2けたまで)

問4 8964(上から2けたまで)

問5 7421(一万の位まで)



解答

- 問1 6000
- 問2 6300
- 問3 56000
- 問4 9000
- 問5 10000

解説

- 問1 6257(千の位まで)→切り捨てなので6200
 - 問2 6257(百の位まで)→切り上げなので6300
 - 問3 56037(上から2けたまで)→切り捨てなので56000
 - 問4 8964(上から2けたまで)→切り上げなので9000
 - 問5 7421(一万の位まで)→切り上げなので10000
-

年 月 日

がい数 (整数のはんい求め)



ロイヤルペンギン メス

たくさんあるから、
はんいで
答えるざますね。



うみどり教授

たとえば、四捨五入で百の位までのがい数で表したとき、2800になる整数はいくつもありますよね。「2789, 2801, 2845など…」

一番小さいのは27□□で十の位が切り上げになる2750、

一番大きいのは28□□で十の位が切り捨てになる2849です。

この間の整数ならどれも四捨五入で2800になるので、2750以上2849以下が求めるはんいになります。

2750, 2751, 2752,
2753, 2754…



ウミガラス メス

ねむれなくて
羊を数えてる
みたいざます。



ロイヤルペンギン メス

以下の方法で、千の位までのがい数で表したとき、
3000になる整数のはんいを求めましょう。

問1 切り捨て

問2 切り上げ

問3 四捨五入



解答

問1 3000以上3999以下

問2 2001以上3000以下

問3 2500以上3499以下

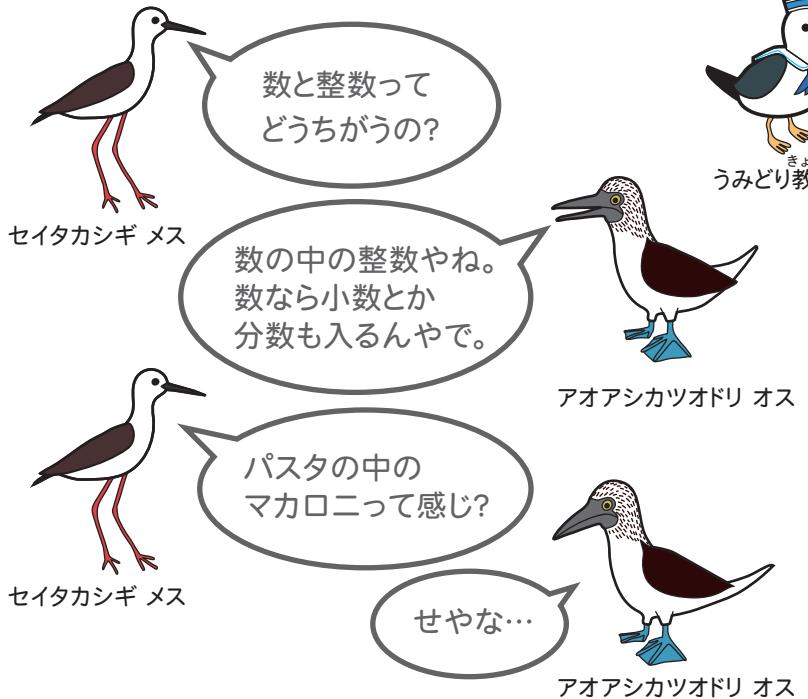
解説

問1 一番小さい数は、3□□□で最も小さな数である3000。
一番大きい数は、3□□□で最も大きな数である3999。

問2 2000は切り上げても2000のままであるが、2001は切り上げると3000になります。
3000は切り上げても3000のままであるが、3001は切り上げると4000になってしまいます。

問3 百の位を四捨五入するので、
一番小さい数は25□□で最も小さな数なので、2500。
一番大きい数は34□□で最も大きな数なので、3499。

がい数 (数のはんい求め)



四捨五入で百の位までのがい数で表したとき、2800になる「整数」のはんいを求めるのは前回やりましたね。では、これが「数」のはんいを求める問題になったらどう変わるのでしょうか？

一番小さいのは2750というのは同じですが、一番大きいのは2849ではなく、 $2849.99\dots$ などといった1より小さい数のことも考えないといけません。2850より少しでも小さい数を表すために「未満」という言葉を使って表します。この問題だと2750以上2850未満が求める数のはんいとなります。

()の位まで四捨五入して各問い合わせの数になる
数のはんいを求めなさい。

問1 3000(千の位まで)

問2 4500(百の位まで)

問3 2000(上から2けたまで)



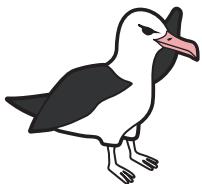
解答

- 問1 2500以上3500未満
問2 4450以上4550未満
問3 1950以上2050未満

解説

- 問1 一番小さいのは2□□□で百の位が切り上げになる2500。
一番大きいのは3□□□で百の位が切り捨てになる3499.99…→3500未満。
- 問2 一番小さいのは44□□で十の位が切り上げになる4450。
一番大きいのは45□□で十の位が切り捨てになる4549.99…→4550未満。
- 問3 一番小さいのは19□□で十の位が切り上げになる1950。
一番大きいのは20□□で十の位が切り捨てになる2049.99…→2050未満。
-

がい数(がい算)



アホウドリ オス

筆算しなくても
大体の答えが
わかつて便利だね。



うみどり教授

お店で買物をするとき、大体いくらになるか計算してからレジにならびますよね。

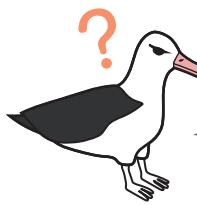
98円のおかしを18個買うなら、 98×18 を計算すれば良いのですが、98円→約100円、18個→約20個として 100×20 の計算ならば暗算でもパッとできてわかりやすいですね。

このように、数をがい数にしてから計算することを「がい算」といいます。

会計をすませてから
「お金が足りない!」って
ならなくて安心だね。



ウミガラス メス



アホウドリ オス

ぼくたちって
買い物するの?

四捨五入して上から1けたまでのがい数に直してから計算し、
答えを見積もりましょう。

問1 $6845 + 3198$

問2 $9370 - 2776$

問3 879×28

問4 $7834 \div 198$



解答

問1 10000

問2 6000

問3 27000

問4 40

解説

問1 $6845 + 3198$

$$\rightarrow 7000 + 3000 = 10000$$

問2 $9370 - 2776$

$$\rightarrow 9000 - 3000 = 6000$$

問3 879×28

$$\rightarrow 900 \times 30 = 27000$$

問4 $7834 \div 198$

$$\rightarrow 8000 \div 200 = 40$$

分数(分数の種類)



1より小さい大きさを表す方法に、分数があります。

たとえば1を4等分した3個分のことを $\frac{3}{4}$ と表します。では、1より大きい大きさはどうやって表すのでしょうか？

$\frac{1}{4}$ を9個集めた大きさは $\frac{9}{4}$ というふうに表したり、 $2\frac{1}{4}$ というふうに整数+分数で表したりします。分数の種類は大きく分けて3つあるので、覚えておきましょう。

- ・真分数…分子<分母 ($\frac{1}{4}, \frac{4}{9}, \frac{4}{9999}$ など)
- ・仮分数…分母 \leq 分子 ($\frac{9}{4}, \frac{8}{5}, \frac{24}{24}$ など)
- ・帶分数…整数+真分数 ($2\frac{1}{4}, 99\frac{1}{99}$ など)

次の分数が

真分数ならばア、仮分数ならばイ、帶分数ならばウと
答えましょう。

問1

$$\frac{3}{5}$$

問4

$$\frac{21}{13}$$

問2

$$\frac{6}{6}$$

問5

$$\frac{9}{10}$$

問3

$$9\frac{3}{4}$$

問6

$$2\frac{4}{5}$$



解答

- 問1 ア
 - 問2 イ
 - 問3 ウ
 - 問4 イ
 - 問5 ア
 - 問6 ウ
-

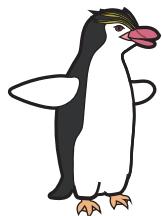
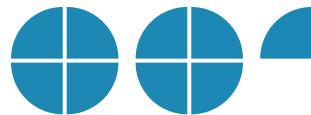
年 月 日

分数 (仮分数と帯分数)



帯分数を仮分数に直すには?
 $2\frac{1}{4}$ は4等分したかけらが全部で $2 \times 4 + 1 = 9$ 個あるので $\frac{9}{4}$

$$2 + \frac{1}{4} = \frac{9}{4}$$



$+-\times\div$
ができれば
かんたんになります。

仮分数を帯分数に直すには?
 $\frac{7}{3}$ は3等分したかけらが7個分。かけらが3こ集まると1になる。

$$7 \div 3 = 2 \text{あまり } 1 \text{ なので、} 2\frac{1}{3}$$

$$7 \div 3 = 2 \text{あまり } 1$$

分子 分母 整数



次の仮分数を帯分数に、
帯分数を仮分数に直しましょう。

問1 $\frac{13}{6}$

問4 $\frac{93}{4}$

問2 $\frac{27}{5}$

問5 $2\frac{8}{13}$

問3 $\frac{70}{9}$

問6 $4\frac{7}{10}$



解答

問1 $2\frac{1}{6}$

問2 $5\frac{2}{5}$

問3 $7\frac{7}{9}$

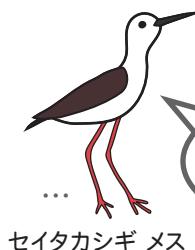
問4 $23\frac{1}{4}$

問5 $\frac{34}{13}$

問6 $\frac{47}{10}$

年 月 日

同じ大きさの分数



セイタカシギ メス

$$\frac{1}{3} = \frac{2}{6} = \frac{3}{9} = \frac{4}{12} = \frac{5}{15} = \dots$$



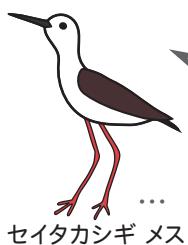
うみどり教授

下の図を見ると、8等分したうちの4個ぶんと4等分したうちの2個ぶんと2等分したうちの1個ぶんは等しいです。これを分数で表すと

$$\frac{4}{8} = \frac{2}{4} = \frac{1}{2}$$

となります。ここから分母と分子に同じ数をかけたり割ったりしても分数の大きさが変わらないということがわかります。

同じ数で割って分母と分子の数を小さくすることを「約分」ということも覚えておくといいですね。



セイタカシギ メス

$$\dots \frac{100}{300} = \frac{101}{303} = \frac{102}{306} = \dots$$



ユリカモメ オス

(楽しそうだから
ほうっておくか…)

8等分



4等分



2等分



問1

1を16等分したうちの10個ぶんは1を□等分したうちの5個ぶんと等しいです。

答え

問2

$$\frac{7}{21} = \frac{1}{\square}$$

問3

$$\frac{1}{4} = \frac{\square}{8} = \frac{3}{\square} = \frac{\square}{16}$$



問4

$$\frac{3}{7} = \frac{6}{\boxed{\quad}} = \frac{9}{\boxed{\quad}} = \frac{\boxed{\quad}}{28}$$

問5

$$\frac{96}{240} = \frac{\boxed{\quad}}{120} = \frac{24}{\boxed{\quad}} = \frac{12}{\boxed{\quad}} = \frac{\boxed{\quad}}{5}$$

解答

問1 8

問2 3

問3 2 12 4

問4 14 21 12

問5 48 60 30 2

解説 分母と分子に同じ数をかけたりわったりする。

問1 $\frac{10}{16} = \frac{5}{8}$

問2 $\frac{7}{21} = \frac{1}{3}$

問3 $\frac{1}{4} = \frac{2}{8} = \frac{3}{12} = \frac{4}{16}$

問4 $\frac{3}{7} = \frac{6}{14} = \frac{9}{21} = \frac{12}{28}$

問5 $\frac{96}{240} = \frac{48}{120} = \frac{24}{60} = \frac{12}{30} = \frac{2}{5}$

面積



広さを表す単位として cm^2 (平方センチメートル)があります。1辺の長さが1cmの正方形の面積を1 cm^2 としていろいろな図形の広さを考えていきましょう。



1辺が3cmの正方形の面積を考えるために、1辺1cmの正方形をしきつめていきます。たてもよこも3個ずつならべられるので $3 \times 3 = 9$ (個)の正方形があります。よって1辺3cmの正方形の面積は9 cm^2 とわかります。

たて3cmよこ4cmの長方形の面積を同じように考えると、たては3個、よこは4個ならべられるので $3 \times 4 = 12$ (個)の正方形があります。よってこの長方形の面積は12 cm^2 とわかります。

まとめると

「正方形の面積=1辺の長さ×1辺の長さ」
「長方形の面積=たての長さ×よこの長さ」
の式で求めることができます。

問1

1辺の長さが12cmの正方形の面積は何 cm^2 ですか。

答え

問3

たての長さが8cm、よこの長さが12cmの長方形の面積は何 cm^2 ですか。

答え

問2

1辺の長さが20cmの正方形の面積は何 cm^2 ですか。

答え

問4

たての長さが15cm、よこの長さが8cmの長方形の面積は何 cm^2 ですか。

答え



問5

よこの長さが9cmで面積が108cm²の長方形のたての長さは何cmですか。

答え

問7

面積が81cm²の正方形の1辺の長さは何cmですか。

答え

問6

たての長さが4cmで面積が132cm²の長方形のよこの長さは何cmですか。

答え

問8

面積が256cm²の正方形の1辺の長さは何cmですか。

答え

解答

問1 144cm^2

問2 400cm^2

問3 96cm^2

問4 120cm^2

問5 12cm

問6 33cm

問7 9cm

問8 16cm

解説

問1 $12 \times 12 = 144$

問2 $20 \times 20 = 400$

問3 $8 \times 12 = 96$

問4 $15 \times 8 = 120$

問5 $\square \times 9 = 108 \quad \square = 108 \div 9 = 12$

問6 $4 \times \square = 132 \quad \square = 132 \div 4 = 33$

問7 $\square \times \square = 81$ 同じ数をかけて81になるものを探す。 $\square = 9$

問8 $\square \times \square = 256$ 同じ数をかけて256になるものを探す。 $\square = 16$

分数のたし算



ユリカモメ オス

俺は整数部分の計算をする!



うみどり博士

分母が同じ分数のたし算は分母はそのままにして分子だけでたし算をします。帯分数のたし算のときは整数部分と分数部分にわけて計算します。

$3\frac{4}{7} + 2\frac{5}{7}$ の計算をしましょう。

整数: $3+2=5$

分数: $\frac{4}{7} + \frac{5}{7} = \frac{9}{7} = 1\frac{2}{7}$

この 2 つをまとめると $6\frac{2}{7}$ が答えとなります。



セイタカシギ メス

じゃあ私が分数部分の計算ね。
私のほうが大変じゃない?



ユリカモメ オス

バレたか…

問1 $\frac{8}{13} + \frac{9}{13} =$

問6

Aさんは貝ひろいがしゅみです。Aさんは昨日 $3\frac{8}{19}$ kg の貝をひろい、今日は $5\frac{13}{19}$ kg の貝をひろいました。

2日あわせて何kgの貝をひろいましたか。

答え

問2 $1\frac{2}{7} + 2\frac{3}{7} =$

問3 $\frac{8}{9} + 1\frac{2}{9} =$

問7

Bさんは3日間魚を食べ続けました。1日目は $2\frac{5}{11}$ kg の魚を、2日目は $\frac{16}{11}$ kg の魚を、3日目は $3\frac{4}{11}$ kg の魚を食べました。

3日あわせて何kgの魚を食べましたか。

答え

問4 $6\frac{8}{13} + 2\frac{8}{13} =$

問5 $\frac{15}{7} + \frac{20}{7} =$



ウミドリる

by ALLIANCE FOR THE BLUE

解答

問1 $1\frac{4}{13}$

問2 $3\frac{5}{7}$

問3 $2\frac{1}{9}$

問4 $9\frac{3}{13}$

問5 5

問6 $9\frac{2}{19}$ kg

問7 $7\frac{3}{11}$ kg

解説

問1 $\frac{8}{13} + \frac{9}{13} = \frac{17}{13} = 1\frac{4}{13}$

問2 $1\frac{2}{7} + 2\frac{3}{7} = 3\frac{5}{7}$

問3 $\frac{8}{9} + 1\frac{2}{9} = 1\frac{10}{9} = 2\frac{1}{9}$

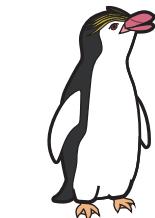
問4 $6\frac{8}{13} + 2\frac{8}{13} = 8\frac{16}{13} = 9\frac{3}{13}$

問5 $\frac{15}{7} + \frac{20}{7} = \frac{35}{7} = 5$

問6 $3\frac{8}{19} + 5\frac{13}{19} = 8\frac{21}{19} = 9\frac{2}{19}$

問7 $2\frac{5}{11} + 3\frac{4}{11} + 3\frac{4}{11} = 2\frac{5}{11} + 1\frac{5}{11} + 3\frac{4}{11} = 6\frac{14}{11} = 7\frac{3}{11}$

分数のひき算



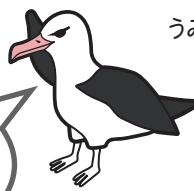
ロイヤルペンギン メス

計算がこんがら
がってくるざます。



ロイヤルペンギン メス

頭の中で計算せず、
とちゅうの式を
ちゃんと書くといいよ!



アホウドリ オス

すらすら計算
できるざます!



うみどり博士

分母が同じ分数のひき算は分母はそのままにして分子だけでひき算します。
たし算のときと同じように、帯分数のときは整数部分と分数部分にわけて計算をします。

$2\frac{2}{7} - \frac{5}{7}$ の計算をしてみましょう。 $\frac{2}{7} - \frac{5}{7}$ はできないので $1 = \frac{7}{7}$ であることを使いましょう。

$$2\frac{2}{7} - \frac{5}{7} = 1\frac{9}{7} - \frac{5}{7} = 1\frac{4}{7}$$
 となります。

問1 $2\frac{11}{13} - 1\frac{8}{13} =$

問5 $9\frac{4}{7} - 3\frac{6}{7} =$

問2 $8\frac{6}{7} - 4\frac{5}{7} =$

問6 $1\frac{7}{23} - \frac{14}{23} =$

問3 $7\frac{2}{11} - 4\frac{9}{11} =$

問7

$13\frac{5}{11}$ kgある魚のうち $6\frac{10}{11}$ kgを食べると
残りは何kgになりますか。

問4 $5\frac{3}{17} - 3\frac{8}{17} =$

答え



ウミドリる

by ALLIANCE FOR THE BLUE

問8

Aくんは家にある $1\frac{2}{9}$ kgのたらこのうち、 $\frac{4}{9}$ kgをパスタの具として使いました。
残っているたらこの量は何kgですか。

答え

問9

Bくんの家には $5\frac{13}{23}$ kgの明太子があります。昨日は $1\frac{6}{23}$ kgの明太子を食べ、
今日は $3\frac{21}{23}$ kgの明太子を食べました。
残っている明太子の量は何kgですか。

答え

解答

- 問1 $1\frac{3}{13}$
 問2 $4\frac{1}{7}$
 問3 $2\frac{4}{11}$
 問4 $1\frac{12}{17}$
 問5 $5\frac{5}{7}$
 問6 $\frac{16}{23}$

- 問7 $6\frac{6}{11}$ kg
 問8 $\frac{7}{9}$ kg
 問9 $\frac{9}{23}$ kg

解説

- 問1 $2\frac{11}{13} - 1\frac{8}{13} = 1\frac{3}{13}$
 問2 $8\frac{6}{7} - 4\frac{5}{7} = 4\frac{1}{7}$
 問3 $7\frac{2}{11} - 4\frac{9}{11} = 6\frac{13}{11} - 4\frac{9}{11} = 2\frac{4}{11}$
 問4 $5\frac{3}{17} - 3\frac{8}{17} = 4\frac{20}{17} - 3\frac{8}{17} = 1\frac{12}{17}$
 問5 $9\frac{4}{7} - 3\frac{6}{7} = 8\frac{11}{7} - 3\frac{6}{7} = 5\frac{5}{7}$
 問6 $1\frac{7}{23} - \frac{14}{23} = \frac{30}{23} - \frac{14}{23} = \frac{16}{23}$

- 問7 $13\frac{5}{11} - 6\frac{10}{11} = 12\frac{16}{11} - 6\frac{10}{11} = 6\frac{6}{11}$
 問8 $1\frac{2}{9} - \frac{4}{9} = \frac{11}{9} - \frac{4}{9} = \frac{7}{9}$
 問9 $5\frac{13}{23} - 1\frac{6}{23} - 3\frac{21}{23} = 4\frac{7}{23} - 3\frac{21}{23} = 3\frac{30}{23} - 3\frac{21}{23} = \frac{9}{23}$